

JA 鶴岡 コミュニティ広報誌「ぱさらん」

Pasaran

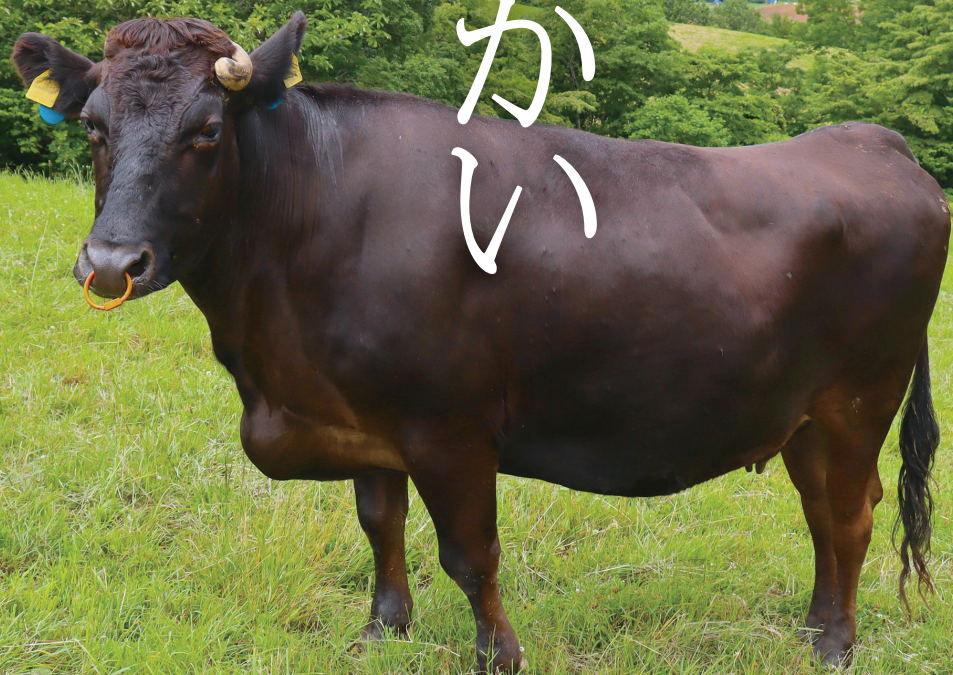
vol. 40

2026年8月発行

JA 鶴岡のマスコット「けさらんちゃん」のお友達「ぱさらんちゃん」が、皆様にちょっといい話、お届けします。



牛のせかい



JA 鶴岡畜産部会は、平成24年度に肉牛部会・養豚部会・酪農部会・養鶏部会の4部門を統合し、新たに各畜種ごとの班組織を設立してスタートしました。現在は7名の部員が所属し、生産者同士の情報交換や飼養管理の改善、消費者への理解促進などに取り組んでいます。班員が一番多いのは、肉用牛を飼育する「肉用牛班」です。

わたしたちの食卓に欠かせない「牛肉」「豚肉」「鶏肉・卵」。スーパーで何気なく手に取っているお肉も、実は、牛や豚、鶏が生まれてから育ち、全国各地の農家へと受け渡される「命のバトンリレー」を経て、みなさんの食卓に届いています。

今回の特集では、とくに「牛の一生」の中でも、JA 鶴岡管内の繁殖農家の仕事に焦点を当て、子牛が生まれてから市場に出荷されるまでの過程や、その陰で支える生産者の苦労、畜産部会員の想いをご紹介します。



令和9年度 職員採用募集要領

1. 募集職種と採用人数

一般職 2名以内 (購買、販売、信用、共済事業における事務および営業業務)

整備職 3名以内 (自動車整備・農業機械整備業務)

2. 応募資格

①学 歴 高校卒業以上 (令和9年3月卒業見込みの者を含む)

②年 齢 令和9年4月2日現在35歳以下
(平成3年4月2日以後生まれた者)

③一般職 事務系・営業系の業務に適應できる能力を有する方
整備職 整備系の業務に適應できる能力を有する方

3. 応募期間 令和8年9月5日(土)～**9月10日(木)** 当日必着

4. 採用選考

(1)書類選考 書類審査通過者に、下記の採用試験を行う。

(2)試 験 総合適性検査 (能力検査および性格検査)・小論文・面接

①期 日 令和8年9月17日(木)
受付8:40～・試験9:00～・面接11:30～

②会 場 JA 鶴岡 本所3階 会議室 (予定)

「マイナビ2027」は
こちらから→
採用情報や企業情報が
ご覧いただけます



JA 鶴岡ホームページ
(採用情報)はこちらから→
JA 鶴岡指定の「履歴書」が
ダウンロードできます



令和8年4月より取扱い再開!

一時払 養老生命共済

一時資金を活用した
「そなえる」・「ふやす」を
両立したベストプラン!!

仕組図

一時払共済掛金



1 将来に向けて、
確実に資金づくり
ができます。

2 お亡くなりな
られたときの保障も
あわせて確保できます。

3 医師による診査は必要なく、
簡単な告知で
お申込みいただけます。

共済期間10年の場合
(予定利率^{※1} 2.30%)

一時払共済掛金
100万円の
場合

10年後

8月中にご加入の場合
満期共済金額 (課税前)^{※2}

1,205,399円

満期時利回り^{※3}

2.05%

共済
期間

5年と10年
からお選びいただけます。

ご加入
年齢

共済期間 5年 0歳～85歳
共済期間10年 0歳～80歳

お問い合わせ

金融本店(日吉町) ☎22-3260 / 中央支所(白山) ☎35-0177 / 西郷支所(下川) ☎76-2331

※1 予定利率とは、共済掛金積立金を積み立てる際に適用されるあらかじめ定められた利率のことをいいます。予定利率は、金利情勢に応じて毎月1日に設定され、月末まで同一となります。このため、ご契約される月によりお受取りになられる満期共済金等が変動(増減)する場合があります。なお、ご契約時の予定利率は、共済期間を通して固定して適用されます。現在の満期共済金等については、「掛金シミュレーション」にてご確認ください。お近くのJAにお問い合わせください。※2 満期共済金(解約返戻金)をお受取りになる場合には、所定の税金がかかる場合があります。詳しくはJAまでお問い合わせください。※3 満期時利回りとは、一時払共済掛金に対する満期共済金の増加割合を共済期間で割ることにより出した一時払共済掛金に対する1年あたりの利回り(単利)のことです。満期時利回り(%)=(満期共済金ー一時払共済掛金)÷一時払共済掛金×100(小数点第3位以下は切捨て)この資料は概要を説明したものです。詳細については、「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

[26066010134]

お部屋探しからリフォームまで
お気軽にご相談
ください!

物件情報はこちらをクリック!

管理物件は1,000件以上!

JA 鶴岡不動産センター
tel.0235-23-5029

鶴岡市日吉町3-1 (JA 鶴岡ビル1階)
9:00～17:30 (土曜日は17:00まで)

読者プレゼント

5名様に「もんとあ〜る」で使える「JA 鶴岡お買物券1000円」をプレゼント! ハガキまたはメールに①郵便番号 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号 ⑥紙面の感想や生産者への応援メッセージなどをご記入の上、次のあて先にお送りください。

■応募締切/9月4日(金)(当日消印有効)

【あて先】
〒997-8558 鶴岡市日吉町3-1
JA 鶴岡「ぱさらん」係
メール: kesaran@ja-tsuruoka.or.jp
メールアドレスQRコード▼

※当選者の発表は商品の発送をもって
かえさせていただきます。
※個人情報は厳重に管理し、賞品の発
送以外の目的では使用しません。



JA 鶴岡
コミュニティ広報誌

Pasaran

[ぱさらん]



vol.40
2026年8月発行

●連絡先/鶴岡市農業協同組合 〒997-8558 山形県鶴岡市日吉町3-1 0235-23-5090
●ホームページ https://ja-tsuruoka.or.jp ●Eメール kesaran@ja-tsuruoka.or.jp

ホームページ



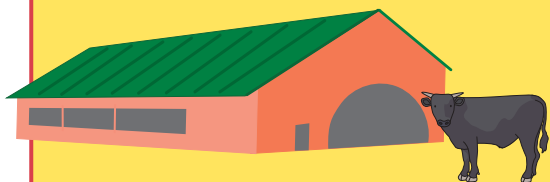
Facebook



知ってた？ お肉が食卓に届くまで

繁殖（はんしよく）農家のお仕事

雌牛を飼って、産まれた子牛を
9か月～10か月の大きさまで育てます。



生後約13か月
以降の雌牛に
種付け
（人工授精）

母牛の妊娠
約10か月間
（約285日）

子牛の誕生
（約30kg）

子牛の育成
約10か月間
（約300kg）

子牛市場へ
出荷

POINT 月山高原牧場への入牧



毎年5月頃に入牧させ、10月頃の下牧します。同牧場は標高約350mの山麓に位置しており、夏でも涼しい気候が特徴です。約100haの広大な敷地には高低差があり、牛の足腰をきたえるのに最適な環境となっています。牛は年齢や畜種などでグループに分けられ、放牧されています。

知ってた？ 牛だけじゃない！JA鶴岡の畜産 / 豚の成長サイクル



豚は生後約25日で離乳し、固形の飼料（人工乳）を食べ始めます。生後約90日からは子豚用の配合飼料に変わり、大きく成長します。生後約180日で、110kg位になって食用として出荷されます。

写真の豚は「三元豚」！生後約80日で、重さは35kg位です。豚舎にいる時は1日の7～8割の時間、体を休めています。

鶏の成長サイクル



鶏は生後すぐから生育期に合わせた配合飼料を食べます。ひよこ、中雛、大雛、成鶏と成長し、生後約120日から卵を産み始めます。生後約200日のピーク時には1日1個の卵を産むようになります。

写真の鶏は成鶏です！毎日元気に卵を産みます。産まれた卵は農家さんが一つ一つ丁寧に回収し、出荷されます。

生 まれたばかりの子牛は、お母さんの母乳や子牛用のミルク（配合飼料）を飲んで育ちます。生後1か月くらいになると、母乳に加えて、チモシーというイネ科の牧草や稲わらなども少しずつ食べられるようになります。2～3か月で母乳を卒業し、その後はお母さん牛と同じ餌（稲わらや牧草、配合飼料）を食べながら、ぐんぐん大きくなっていきます。農家さんによっては、天気の良い季節には、お母さん牛を牛舎内から出して日光を浴びさせたり、足腰をきたえるなどの工夫もしています。

そのあいだ、獣医さんの定期検診やワクチン接種を受けて、病気にならないように見守られています。

こうして
元気に育った
子牛は、生後
9～10か月ごろになると、次の農家さんへバトンをつなぐために子牛市場へ出荷されます。

子牛市場に出荷された牛たちは、県内外の「肥育農家」に引き取られます。肥育農家は、牛が大きく成長してお肉として出荷できるまでのあいだ、餌やりや健康管理を続ける役割を担っています。JA鶴岡畜産部会には現在、肉用牛の繁殖農家のみが所属していますが、子牛市場を通じて県内外の肥育農家とつながり、「命のバトン」をつないでいます。

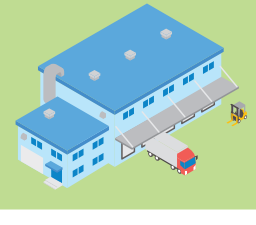
食卓へ

「精肉」としてスーパーなどに売られ、食卓へ



食肉工場

部位ごとの塊（部分肉）に切り分けられる

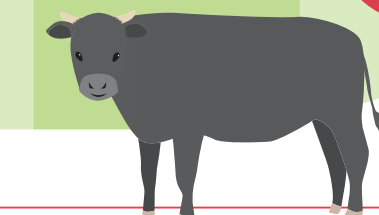


食肉センター

解体を行い、皮や骨、内臓などを取り除き枝肉に加工



食肉市場へ
出荷



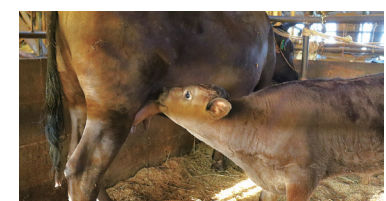
登記には
鼻紋も載って
います



COLUMN 【豆知識】

■ 生まれてすぐの子牛って ■ どのくらいで立つの？

生まれたばかりの子牛は、だいたい1時間くらいで自分の足で立ち上がります。その数時間後には、お母さんの母乳を飲み始めます。生まれてすぐから、お母さん牛といっしょにがんばっています。



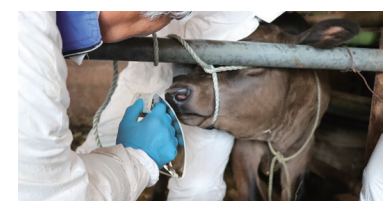
■ 牛の胃は4つ ■ あるって本当？

牛の胃袋は、4つの部屋に分かれています。一番大きいのが「第一胃」と呼ばれるところで、ここにたくさんのお餌をためておきます。牛は一度餌を飲み込んだあと、口の中に戻してもう一度かみ直します。これを「反芻（はんすう）」といいます。反芻をくり返すことで、かたい草などもゆっくり消化できるようになります。



■ 鼻紋（びもん）って ■ なに？

牛の鼻には、しわのような独特の模様があります。この模様は頭ずつ違っていて、人間でいう「指紋」のようなものです。これを「鼻紋（びもん）」と呼び、牛を区別するための印として使われています。



■ 牛にも「戸籍」の ■ ようなものがあるの？

牛には一頭ずつ「個体識別番号」という番号がつけられています。黄色い耳標（耳につけた札）に番号が書かれていて、「いつどこで生まれたか」「どこで育てられたか」などの情報が記録されています。このしくみのおかげで、「牛の履歴」をきちんとたどることができ、安心・安全なお肉につながっています。いわば、牛の「戸籍」や「身分証明書」のようなものです。



HIGH LIGHTS

【生産者の想い】



畜産部会 部会長
佐藤 眞一 さん

日々の業務の中で特に心掛けているのは「牛の健康」です。牛の動きやフンの状態をよく観察し、元気があるかどうかを日々確認します。声をかけたり、ブラッシングをしたりしながら、できるだけストレスの少ない環境で過ごせるよう、愛情を込めて世話をしています。牛は暑さにとても弱いため、牛舎内の温度管理には細心の注意を払っています。夏場は熱中症にならないよう風通しや換気を工夫し、寒い時期にはおなが冷えずぎないよう暖房などで対策を行っています。

以前は、繁殖から肥育まで一貫して牛を飼育していた時期もありましたが、ほぼ一人で切り盛りしていたため、とても大変でした。現在は繁殖農家として、畜産部会の仲間とともに日々研さんを重ねています。

「元気で健康な牛を市場へ送り出すのが、自分たちのいちばんの役目だと思っています」と語る佐藤さん。その一頭一頭が、県内外の肥育農家へと渡り、やがて私たちの食卓へつながっていきます。

「元気で健康な牛を市場へ送り出すのが、自分たちのいちばんの役目だと思っています」と語る佐藤さん。その一頭一頭が、県内外の肥育農家へと渡り、やがて私たちの食卓へつながっていきます。

国産のお肉を 食べよう！



国産のお肉を食べて、畜産業界を応援しましょう。牛肉はもちろん、豚肉、鶏肉、卵などを選ぶ際には、ラベルを確認して産地が「日本」のものを意識して選んでみてください。できれば、「庄内産」や「山形県産」のものを手に取っていただき、「地産地消」や「国消国産」にチャレンジしてみましょう。

当JAのファーマーズマーケット「もんとあ〜る」で販売しているお肉は、「庄内産」や「山形県産」など、地元の産地から取り寄せたものが多く、すべて「国産」のお肉です。卵も畜産部会員の養鶏場から直送されたもので、安全・安心な商品をお届けしています。

おいしいお肉や卵を味わいながら、
地域の畜産と日本の農業と一緒に
応援していきましょう！